

No.	事項	問い	答え
1	申請	申請はどこでできますか。	<p>金沢市内の福祉健康センター（泉野、元町、駅西）の窓口、または金沢市保健所 地域保健課へ郵送で申請してください。申請いただいた内容の確認のため、地域保健課の職員が申請者様へ御連絡する場合がございます。</p> <p>※＜＜郵送先＞＞〒920-8533 金沢市西念3丁目4番25号 金沢市保健所 小児慢性特定疾病医療担当</p>
2	申請	子どもの疾病が医療費助成の対象になるかどうか分かりません。	<p>国が定める小児慢性特定疾病にかかっており、かつ、その疾病の状態の程度等が国の定める基準に該当する場合に医療費助成の申請ができます。</p> <p>詳細は、小児慢性特定疾病情報センターホームページ(<a href="https://www.shouman.jp/">https://www.shouman.jp/</a>)及び、かかりつけ医にご確認ください。</p>
3	申請	申請に必要な書類はどこでもらえますか。	<p>申請書は、金沢市保健所のホームページからダウンロードしていただくことができます。またお住まい近くの福祉健康センター（泉野、元町、駅西）の窓口でもお渡しすることもできます。</p> <p>ただし、申請に必要な書類のうち、医療意見書（国の定めた様式）は、小児慢性特定疾病指定医に作成を依頼していただく必要があります。</p>
4	申請	医療費助成の申請に必要な書類等について注意すべき点がありますか。	<p>指定医に作成してもらう医療意見書の作成日は申請の受付日から3か月以内のものに限ります。</p> <p>また、医療意見書以外には、申請書・世代調査・健康保険証の写しなどが必要となります。なお、国民健康保険に加入されている場合には世帯全員分が必要です。</p> <p>さらに一部の方にはその他の書類の提出をお願いする場合がございます。</p>
5	申請	医療費助成の継続申請を忘れていた。今からでも申請をすれば医療費の助成を受けることができますか。	<p>この場合、新規申請となりますので、医療費助成を受けられるのは新たに認定された有効期間の開始日からになります。（お持ちの受給者証の有効期間終了日翌日から新たな有効期間の開始日の前日までは医療費助成の対象外です）</p> <p>特に18歳に到達した方は連続した認定期間である場合のみ、20歳になる前日までの延長を認められています。原則、新規申請はできませんのでご注意ください。</p>
6	申請	更新申請の案内が届いていません。	<p>毎年6月下旬に更新案内をご自宅宛てに発送していますので、7月から受付を開始します。届いていない場合は、金沢市保健所の地域保健課までご連絡ください。</p> <p>※地域保健課 電話番号：076-234-5102 小児慢性受付担当</p>
7	申請	生活保護を受けていますが対象になりますか。また、どのようにすればいいですか。	<p>生活保護を受けていても、本制度を優先して受けいただくこととなります。生活保護の受給確認については、マイナンバーにより照会を行うため、生活保護受給証明書の提出は不要です。</p>
8	申請	（例）うちの子は気管支喘息なのですが、小児慢性特定疾病の対象になりませんか？	<p>気管支喘息の場合は次のいずれかに該当する場合が対象です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）この1年以内に大発作が3か月に3回以上あった場合</li> <li>（2）1年以内に意識障害を伴う大発作があった場合</li> <li>（3）治療で人工呼吸管理又は挿管を行う場合</li> <li>（4）オマリズマブ等の生物学的製剤の投与を行った場合</li> <li>（5）おおむね1か月以上の長期入院療法を行う場合</li> </ul>

No.	事項	問い	答え
9	申請者	申請者は誰になるのか。	児童と同じ医療保険に加入している保護者であれば、どなたが申請者になっていただいてもかまいません。また、単身赴任等で申請者となるべき被保険者が世帯内にいない場合は、児童を現に監護する保護者でも差し支えありません。
10	申請者	家族が代わりに申請を行うことはできますか。	患者が18歳未満の児童の場合には、保護者の方が申請者となります。 18歳到達後に申請を行う場合は、患者本人が申請者となります。ご家族の方が申請を行うには、患者本人からの委任状が必要です。委任状は金沢市保健所のホームページからダウンロードすることができます。
11	申請書	申請日はいつにしたらよいか。	すべての書類を準備し終わったのち、申請書を提出する日(または郵送する日)を申請日としてください。
12	申請書	申請書は何で記入したらよいか。	黒のボールペン(フリクションペンなどの消せるものは不可)で記入してください。
13	申請書	申請書を書き間違えてしまった。	該当箇所にボールペンで二重線を引いていただき、正しい内容を記入してください。
14	申請書	申請書等に印鑑は押さなくてもよいか。	署名のみで押印は不要です。
15	有効期間	新規申請が承認された場合、有効期間はいつから始まるのか。	申請日から次の①又は②のいずれか遅い日を有効期間の開始日とします。 ①指定医が疾病の状態の程度を満たしていると診断した日(医療意見書の「診断年月日」欄の日付)。 ②申請日から原則1か月前の日、ただし指定医が診断書の作成に期間を要したことその他やむを得ない理由があるときは最長3か月前の日(例 5月15日→4月15日 5月31日→4月30日)
16	有効期間	承認された場合、受給者証の有効期間はいつまでになるか。	原則、上記の開始日から次に迎える11月30日までとなります。
17	有効期間	医療費助成は何歳まで受けられますか。	医療費助成を受けることができるのは原則18歳未満の方です。ただし、18歳に到達した時点で有効な医療受給者証をお持ちの方は、20歳の誕生日の前日まで医療費助成を受けることができます。
18	医療機関	受診を希望する指定医療機関が決まっていない。	現時点で把握している指定医療機関を記載してください。認定後、随時指定医療機関は追加していただけます。
19	審査	承認・不承認はどのようにして決まるのか。	主治医の作成した医療意見書をもとに、審査会の医師による認定審査を行い、決定します。
20	審査	申請後、承認・不承認はいつ頃分かるか。	通常は、申請後2～3か月を目安に承認・不承認の結果が分かります。
21	重症患者等	重症患者に当てはまるのかが分からない。	児童の状態と「小児慢性特定疾病重症患者認定基準」を照らし合わせてご確認いただき、それでも不明である場合は、主治医にご確認ください。
22	重症患者等	重症患者または人工呼吸器装着者に該当するが、どうすればよいか。	追加での書類提出が必要になります。恐れ入りますが、お近くの福祉健康センター(泉野、元町、駅西)へ御連絡のうえ、その旨をお伝えいただき、案内を受けてください。

No.	事項	問い	答え
23	同意書	同意書に記載の賦課期日(課税要件が確定する日)に金沢市に住民票がない場合はどうすればよいか。	金沢市では、その年度の課税状況を把握することができないため、マイナンバーによる情報連携を行います。申請書にマイナンバーを記入してください。
24	同意書	生活保護世帯だが、書類は何を提出したらよいか。	同意書を提出してください。
25	自己負担額	医療費助成を受ける場合、医療費の自己負担は全く不要となりますか。	生活保護等の受給世帯、血友病患者の方以外には自己負担額(月額)が生じます。また医療保険上の世帯の市町村民税の課税額(所得割額)により自己負担上限額の金額が変わります。(月額1,250円～15,000円の範囲) 具体的な金額については、金沢市保健所のホームページを参照してください。
26	自己負担額	自己負担額が減額できる場合はありますか。	次の場合には自己負担額が軽減されます。 ①疾病の状態の程度が重症患者認定基準に該当する場合 ②申請月を含めた直近1年間の本制度認定期間内に、自己負担上限額管理票の月当たりの医療費総額が5万円を超える月が6回ある場合 ③申請した疾病を理由に、常時、人工呼吸器または体内式補助人工心臓を装着しており、日常生活動作においても著しい制限がある場合(指定医が作成した医療意見書別紙の提出が必要です) ④医療保険上の世帯内に小児慢性特定疾病や指定難病の認定を受けているご家族がいる場合(または患者本人が別疾病で指定難病の指定を受けている場合)
27	医療費助成	医療費助成の対象となる医療の範囲に制限はありますか。	医療費助成の対象として認定された小児慢性特定疾病に付随して発現する傷病についての診察・投薬等が対象です。ただし、健康保険の対象となる医療に限定されますので、保険外の自費検査や診療は助成の対象外となります。
28	医療費助成	医療費助成を受けられることが決定した場合、証明書などは発行されますか。	医療費助成の対象として認定した場合は、小児慢性特定疾病医療受給者証を交付します。指定医療機関を受診する場合は受診の都度、保険証等とあわせて受給者証を必ず提示してください。
29	償還払い	申請後、受給者証が届くまでの医療費はどうすればよいか。	いったん自己負担でお支払いいただくことになりますが、申請が認定された後で償還払いの請求ができます。申請方法等については、金沢市保健所のホームページ「小児慢性特定疾病医療費の償還払いについて」を参照してください。
30	変更	医療機関を変更(または追加)したいのですが、どのような手続きが必要ですか。	医療受給者証には「児童福祉法に基づき指定された指定医療機関」と記載されていますので、特段のお手続きをすることなく、他の指定医療機関を受診いただけます。小児慢性特定疾病医療費支給認定申請書を提出された時に記載した医療機関以外で受診を希望される場合は、指定医療機関かどうかを管轄する自治体のホームページで確認してください。なお、金沢市内の指定医療機関の一覧表を金沢市保健所ホームページに掲載していますので、ご覧ください。
31	変更	市内間の転居、氏名の変更、健康保険証の変更が生じた場合どうすればいいでしょうか。	小児慢性特定疾病医療受給者等記載事項変更届書の提出が必要です。健康保険証・受給者証・申請者の本人確認書類をご準備いただき、お近くの福祉健康センター(泉野、元町、駅西)の窓口までお越しください。どうしても窓口に来られない場合は、郵送での届出が可能です。健康保険証の変更の場合、新しい健康保険証の写しを添付してください。新しい医療受給者証の交付には、約2～3週間かかる場合があります。  ※<<郵送先>>〒920-8533 金沢市西念3丁目4番25号 金沢市保健所 小児慢性特定疾病医療担当

No.	事項	問い	答え
32	転出	金沢市外へ転出します。どのような手続きが必要ですか。	<p>保護者(被保険者)の方のみが金沢市外へ転出し、別の保護者と児童(受給者)は金沢市に居住する場合や、保護者(被保険者)は金沢市に居住するが、児童(受給者)のみが金沢市外に転出する場合は、引き続き、金沢市で受給できます。但し、住所変更等の手続きが必要です。</p> <p>保護者(被保険者)・児童(受給者)ともに金沢市外に転出する場合は、転出先の市町村役場(保健所)で早急に申請いただき、その後、金沢市保健所へ受給者証をご返却ください。(郵送可)</p> <p>※&lt;&lt;郵送先&gt;&gt;〒920-8533 金沢市西念3丁目4番25号 金沢市保健所 小児慢性特定疾病医療担当</p>
33	紛失	受給者証を紛失しました。再発行できますか。	<p>再交付の手続きが必要です。申請者の本人確認書類を持って、金沢市内の福祉健康センター(泉野、元町、駅西)の窓口までお越しください。窓口に来られない場合は郵送での申請が可能です。その後、新しい医療受給者証を送付いたします。</p> <p>※&lt;&lt;郵送先&gt;&gt;〒920-8533 金沢市西念3丁目4番25号 金沢市保健所 小児慢性特定疾病医療担当</p>